

コロナ後の碧南市は人と環境にやさしく 少人数学級・本気の再生エネルギー利活用を

コロナ後の新しい碧南市へ

9月3・4・7日は、碧南9月市議会の一
般質問が行われます。日本共産党は、コロナ
後の新しい社会へ7つの提案をしています。

山口はるみ、岡本守正両市議員は、碧南市民
のくらしを守り、環境対策でも先進的な取り
組みを求めて質問を行います。ぜひ、議会の
傍聴にお越しください。キャッチ放映は、9
月9日(水)、15日(火)、17日(木)午後6時から地上
デジタル11チャンネルで放映されます。

岡本 守正議員

9月3日(水)2番目

1. 脱石炭火力発電所で自然 エネルギー利活用の利用で低 炭素社会の取組を

①世界は地球温暖化が進むなか、日本はパリ
協定で、2030年までに石炭火力発電所
をゼロにすることを約束し、第四次環境基
本計画では2050年までに温室効果ガス

排出の80%削減を目標にしている。主要
先進国の石炭火力への対応はイギリスは2
5年までに石炭火力を廃止、フランスは2
2年までに廃止、ドイツは38年までに廃
止、アメリカは30年に発電量に占める割
合が20%以下になるように見込む。カナ
ダは30年までに非効率な発電所の段階的
廃止を決めている。

日本政府は二酸化炭素の排出量の多い石炭
火力発電所を廃止する方針である。中部電
力碧南火力発電所は何機廃止の対象すにな
るのか、お答えください。

(2)碧南市での太陽光温水器補助制度の創設を。

2. 緑町地内公園の整備

3. 同報無線と防災ラジオに ついて

①緑町公園予定地の整備計画について。
②同報無線は、市内20基ありますが、棚尾地
区、日進地区には同報無線が有りません。
設置すべきです。
③防災ラジオの補助制度を。

山口はるみ議員

9月4日(金)2番目

1. 新型コロナウイルス 社会と市政について

(1)日本共産党は新型コロナウイルス
ウィルスによるパンデミック
後の社会について「コロ
ナ危機を克服して、どうい
う日本をつくるか」として
7つの提案をした。

- ①ケアに手厚い社会をつくる
- ②人間らしく働ける労働のルー
ルをつくる
- ③一人ひとりの学びを保障する
社会をつくる

- ④危機にゆとりをもって対応で きる強い経
済をつくる
 - ⑤科学を尊重し、国民に信頼される政治をつ
くる
 - ⑥文化・芸術を大切にす国をつくる
 - ⑦ジェンダー平等社会をつくる
- (2)新型コロナウイルス対策について
ア、世田谷区(プール方式・社会的検査)、
千代田区(介護施設で働く人新規入所者の
検査)、千葉県松戸市(65歳以上の検査に
補助)、三重県(妊産婦検査)の各自治体
の検査拡大の取り組みを知っているか。碧
南市でも実施を。市内の官民問わず、抗原、
PCR検査の実施場所の把握は。検査セン
ターの設置を。

2. 学びを保障するために

- (1) 学校現場で、「3密」対策はできている
のか。少人数学級の必要性を感じてないの
か。国の動き、県の動き、近隣市の状況は。
(2) GIGAスクールの進捗状況と、年度内
完了の見通しは。配線、指導のためにも、
教室のスペース確保、指導者確保が必要で
は。

3. 今後の財政見直し

- (3) 各市の、給食無料化(新型コロナ対応と
通常施策として)の実施状況を。
 - (4) 大学生への修学支援などの各市の実施状
況と碧南市での実施を。
 - (5) エアコンの稼働状況は。効果は。
 - (6) 教師への新型コロナ検査の実施を
- 最高税率で、財源確保を。《裏面につづく》

中野新へ大規模改修の動きも

〔表面からの続き〕

③市民病院への、コロナ休診による減収補填を国に求めるべきでは。

④医療機関への財政補填に対する国の動き、県の動きは。

消防職員にPCR検査を

延べ59人が陽性感染者を搬送

8月25日、刈谷市役所9階で開催された衣浦東部広域連合議会で、日本共産党山口はるみ議員は、一般質問、議案質疑、決算審査で質問。今年、管内5市で15件のコロナ患者の搬送が行われたことが明らかになりました。このうち11件は、陽性と判明し病院から病院に搬送。4件は未確定のまま搬送し後日陽性患者とわかりました。

100人に、4千円のコロナ手当

同議会では、コロナ感染者の搬送職員に、一回4000円（直接触れない場合は3000円）のコロナ患者搬送手当を支給することを可決しました。4月から今年度中に延べ100人を見込んでいます。

碧南北分署がコロナ救急の署に

コロナ患者の搬送には、救急車の消毒など、さまざまな準備や片付けが必要です。そこで救急搬送を分離してコロナ患者の搬送に①安城西署②刈谷南署③碧南北分署が、指定されます。

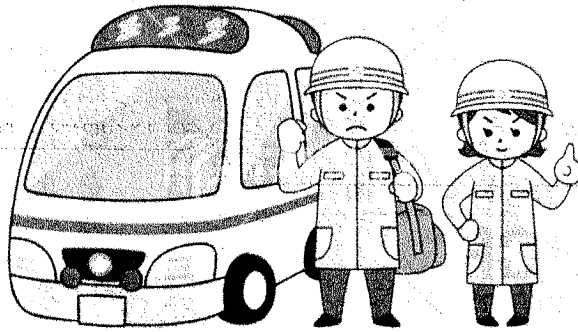
2020. 8. 24現			
	コロナ	消防職員	人口
碧南	21	75	71,346
刈谷市	73	97	149,765
安城市	47	115	184,140
知立市	41	47	70,501
高浜市	8	30	46,236
合計	190	364	521,988

岡崎117	一宮187	豊田167
-------	-------	-------

再任用	16人	
救急救命士		122
標準過程		287
合計		409

熱中症搬送者数/人	
碧南	32
刈谷	54
安城	102
知立	21
高浜	25
合計	234
5/1~8/20まで	

県下2位の感染者数
8月24日現在の感染者数は190人で名古屋市に次ぎ2位。しかし10年来消防士は増えていません。県平均なみで後50人不足しています。



日本共産党は、職員増とコロナPCR検査を364人の現場で働く職員に実施するように求めました。自治体が決意し、国や県を動かしていくことが、求められています。

検査実施と職員増を

8月24日現在、コロナ感染者は5市で190人。愛知県下では名古屋市に次ぎ2位の多さです。救急搬送は10年前の130%とふえ、新型コロナや熱中症搬送も増えています。ところが、消防職員はこの10年間15人しか増えていません。国の消防力基準に対して62.8%。愛知県平均75.2%、全国平均77.4%と比べると50人以上不足しています。2019年では、10人が退職しました。2021年の採用は10名ほど予定していますが、業務が増えても、差し引き職員数は増えません。

増えない消防職員/県平均まで50人不足		
年度/年	消防職員数/人	充足率%
2020	423	62.80%
2019	423	62.9
2018	420	61.3
2017	417	61.1
2016	416	60.5
2015	415	60.9
2014	410	61.5
2013	408	61
2012	409	61.3
2011	408	59.2
愛知県	充足率	75.2%
全国平均	〃	77.4%

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

エビセンター
「感染震源地」に住む人、働く人すべてを対象に

PCR検査の抜本的強化を

感染力をもちながら無症状の人たちが繁華街などに集まり、知らず知らずに感染を広げ、「感染震源地」となって、さらに県をこえて拡大……いまの感染急拡大の仕組みです。震源地で働く人、住む人すべてを対象にしたPCR検査を実施し、感染者を見つけ出すことが急務です。

日本共産党

戦争法廃止・安倍改憲発議
許すな19日行動
9月19日
午前11時~12時
ヤマナカ前にて
50周年